



青年期の自分づくりと二重の移行支援 : そして、人生を彩る学び

渡部, 昭男

(Citation)

KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジ実践発表フォーラム

(Issue Date)

2022-02-26

(Resource Type)

conference object

(Version)

Author's Original

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100476382>



青年期の自分づくりと 二重の移行支援 そして、人生を彩る学び

渡部昭男（わたなべ あきお）

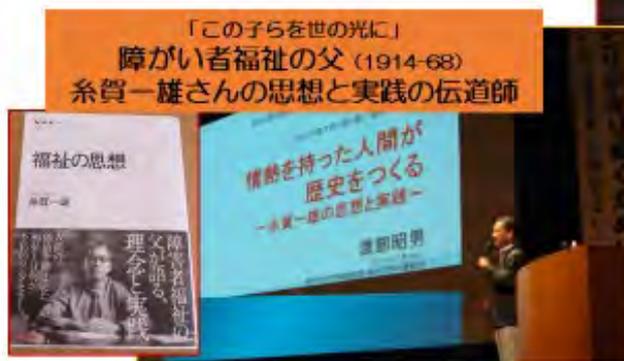
神戸大学大学院人間発達環境学研究科名誉客員教授

／鳥取大学名誉教授

自己紹介



渡部 昭男
WATANABE Akio
【専門分野】特別支援教育・教育行政学



●職歴・経歴

愛媛🍵18年⇒京都🍵9年⇒
鳥取🍷29年⇒神戸🍷9年
⇒定年後の今は和歌山です
(なぜか「9」に縁のある数字!?)
【特別招聘教授@大阪成蹊大学論】

●趣味は📖を書くことです
👉 沢山📖を出しています



2002～05年度：鳥取大学附属特別支援学校校長

2006年：高等部**専攻科**開設（国立の知的障害校で唯一）

2011年：神戸大学に異動（**エコールKOBE**も同年に開設）

2016～18年度：神戸大学附属特別支援学校校長

青年期とは

- KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジ

2021年度の通年参加者27人：18歳～30歳 は

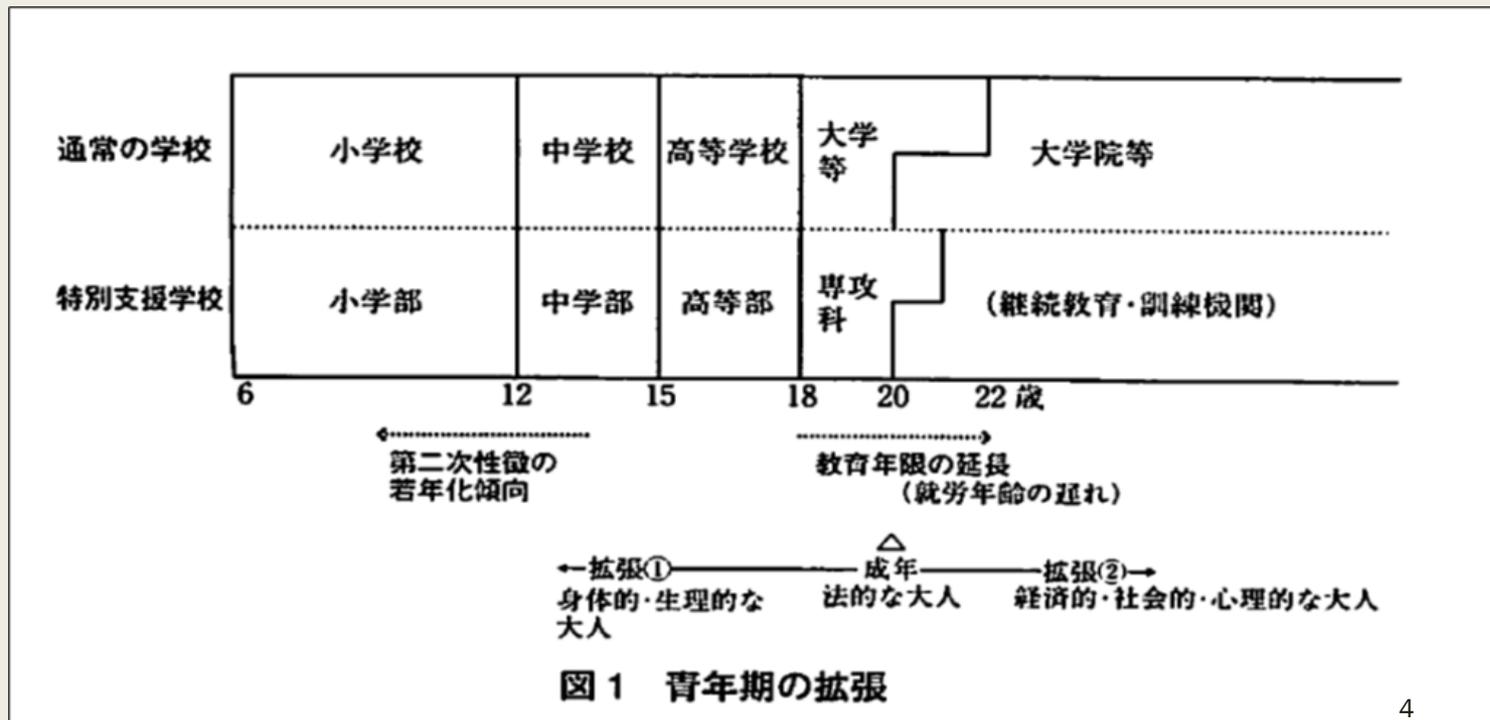
ライフステージで見ると≒**ほぼ青年期**にあたる

* 寺崎弘昭教授（元山梨大学）のご研究による「人生区分」
セビリアのイシドルス(560頃- 636年) 『語源(Etymologiae)』

- ①幼児 infantia — 7歳
- ②子供 pueritia — 14歳 (puritas)
- ③青年 adolescentia — 28歳
- ④若者 iuventus — 50歳 (49歳)
- ⑤熟年 gravitas — 70歳 (77歳)
- ⑥老年 senectus

青年期の誕生と拡張

- 動物 = 成体か否か（仔が生める成熟か否か）の2区分
 - 人間 = 「青年期」の誕生
- 「青年期」という人生区分認識は古代・中世から存在：寺崎弘昭2005
- 工場法(英国1802、日本1911) 児童労働を禁じて教育保障
 - 自分づくり・青年期の拡張



青年期は健常者の専有物？

- 重い障がい者 = 永遠の子ども扱い
- 軽い障がい者 = 早く手に職を
- 障がい者に青年期は「ない/必要ない」との観念

@日本 9年間の義務教育保障(6～15歳) = 1979年度～

希望者全員の高等部進学(16歳～) = 2000年度～

- **そして今、青年・若者支援&生涯学習保障の時代へ**



文部科学省

共に学び ひろがる世界

～ 障害者×生涯学習 ～

障害の有無に関わらず、だれもが学び続けることのできる社会へ【障害者の生涯学習】

青年期の自分づくりと 二重の移行支援

■ OECDによるトランジション研究

① 学校から社会へ (≒仕事へ)

Transition from School to Society (Work)

② 子どもから大人へ

Transition from Childhood to Adulthood

※思春期（中学校/中学部）から20歳台半ば頃までの

約十年に及ぶ長期的で持続的な**二重の移行支援の保障**

※揺れ動きの中で「**かけがえのない自分**」をつくる

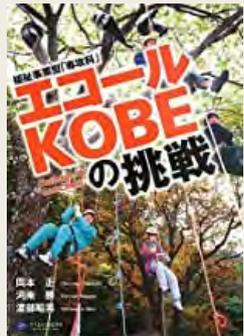
⇒学校型専攻科（鳥大附属2006～）

福祉事業型専攻科（エコールKOBÉ2011～）

神戸大学「学ぶ楽しみ発見プログラム」KUPI（2019～）

KOBÉしあわせの村ユニバーサルカレッジ（2021～）

福祉事業型専攻科（エコールKOBE2011-）



岡本・河内・渡部²⁰¹³ 『エコールKOBEの挑戦』 クリエイツかもがわ

ウェブ入手可能：渡部「障がい青年の自分づくりと二重の移行支援」

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/90003518.pdf>

HP <http://eko-ru.jp/about/education.php>

教育（訓練）の重点



1. 「自立訓練（生活訓練）事業」の目的である「自立した日常生活又は社会生活を営むことができる」ことをめざします
2. 特別支援学校の高等部を含むこれまでの教育成果を引き継ぎ、青年期に見合った教育（訓練）を学園の理念に基づき行うことをめざします
3. 様々な社会的体験を深め、「主体的に・豊かに・楽しく」の理念の生かし、将来の社会的自立にゆっくり、ゆったり備えることめざします
4. 一人一人の個性、障害の特性を活かした進路指導、進路実現をめざします

専攻科等のあつを補う支援

■ 鳥取大学「ファーストジョブ支援室」2010-

📖文献：野波雄一2017：鳥取大学ファーストジョブ支援室の取り組み

<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp/5385>

高等部卒業・専攻科修了後にも継続した移行支援（3年程度）

HP 鳥取大学附属特別支援学校「各学部の案内」

http://special.main.jp/html/htdocs/index.php?page_id=199

■ 福祉事業型「職業訓練校」カレッジ・アンコラージュ2014-

HP <http://wapcorp.co.jp/encourage/>

College Encourage
カレッジ・アンコラージュ

交通アクセス お問い合わせ

カレッジ・アンコラージュとは ご利用の流れ プログラム お問い合わせ

ゆっくりと、何度でも、
チャレンジしよう

カレッジ・アンコラージュは
新しいコンセプトに基づくオフィスタイプの
福祉事業型「職業訓練校」です

神戸大学「学ぶ楽しみ 発見プログラム」KUPI 2019-



HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/KUPI.html>

学習プログラム 週3日(火・水・金)16:30~20:00



<火曜日> 神戸大学
 16:30 HR (カフェ「アゴラ」で夕食を兼ねて)
 17:00 「障害共生教育論」：津田英二先生の講義
 神戸大学生と一緒に受けます
 18:40 授業のふりかえり
 20:00 プログラム終了



<水曜日> 神戸大学
 16:30 HR (カフェ「アゴラ」で夕食を兼ねて)
 17:00 「よりよく生きるための科学と文化」
 神戸大学の赤木、伊藤、稲原、岡崎、川地、
 喜屋武、清野、松岡先生による体験型講義
 18:40 授業のふりかえり
 20:00 プログラム終了



<金曜日> 神戸大学
 16:30 HR (カフェ「アゴラ」で夕食を兼ねて)
 17:00 「話し合う！ やってみる！」
 やってみたいことを話し合って計画を立てます。外にも出かけます。神戸大学生と一緒に研究や創作活動を行います
 18:40 プログラムのふりかえり
 20:00 プログラム終了

- ◆ESD学び隊 「ワークキャンプ」
- ◆ボランティア体験
- ◆神戸大学でのイベント参加など



KOBEしあわせの村 ユニバーサルカレッジ 2021-

HP http://www.kobe-wa.or.jp/universal_college.html



受講生の方は
こちら

関係者の方は
こちら

KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジとは...?

KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジは、学校卒業後直後の就労する障がい者を主な対象とした生涯学習事業として、令和3年7月しあわせの村を会場に開講しました。興味関心の広がりをもつ様々なテーマの一般教養講義、そして会場となるしあわせの村の豊富な運動施設を活かした部活動、世代間交流行事を組み合わせた学びの場です。

(令和3年度 文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究 地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進 事業受託)

幅広い分野の講義

社会的自立に
向けた知識
一般教養

自らの主体
性を育み発
揮する

社会性を育
み仲間づく
りを実現

講義や部活種目の選択

部活動や世代間交流授業

人生を彩る学び

人生80年時代／人生百年時代



想

山村和弘 個展

2021年
10月5日(火)～27日(水)
10～17時

アートスペース
からふる



ペイ
ジンは
ト

日・祝休館／ギャラリーからふる（アートスペースからふる2F）／若桜街道商店街
バス停川端一丁目目前／鳥取県はーとふるアートギャラリー認定第1号／入場無料
企画 一般社団法人アートスペースからふる／〒680-0037 鳥取市元町101
☎0857-35-0191 / ✉art.colourful.105@ncn-t.net / <https://art-colorful.com/>

木版画・墨絵・切り絵・造形物・・・

記事提供：國本真吾氏（鳥取短期大学教授）日本海新聞2021.10.16



● 鳥取 ●

障害者の芸術活動を支援するアトスペースからは、中学生のときに広島らふる（妹尾恵依子理事の原爆資料館を訪れ「あ長」所属のアーティスト山村和弘さん(43)＝鳥取い」と感じ、長年平和をテーマの個展「想」が同市アトスペースに創作を続けている。

平和をテーマに
さまざまなた法で

山村和弘さん個展「想」



原爆ドームの造形物を興味深く
見つめる子どもたち

会場には大仏の木版画やシンプルな線で描かれた薬師三尊像の墨絵、原爆ドームの切り絵や造形物など、さまざまなた法で表現した作品がずらり。アトスペースを通じて平和への祈りや命の尊さを伝えられている。この他、鳥取砂丘や白兎海岸といった地元

山村和弘さん(アトスペースからふる提供、撮影・藤田和俊)



風景を描いた油絵も展示されている。

林愛菜さん(7)＝河原第一小2年＝は「仏像の墨絵は迫力があって、見ていると楽しい」と笑顔で話した。(高坂綾奈)

街を彩るアートフラッグ

- 写真提供：國本真吾氏（鳥取短期大学教授）



私も神戸/和歌山から撮影&個展に



揺れ動きのなかでも ずっと 続けてきた愉しみ

ハルカ個展

会期 (第1期) 2020.10.6(火)~10.17(土)
(第2期) 2020.10.20(火)~10.31(土)
※会場では展示が変更になることがあります。
日・月・祝日 10:00~17:00 最終日は16時まで

場所 ギャラリーからふる
(アートスペースからふる2階)
※長瀬ロータリーにあるアートギャラリー西芝田1号

入場無料

「ハルカなる世界」

企画 一般社団法人アートスペースからふる
〒680-0037 鳥取市元町101
若桜街道商店街川端1丁目バス停前
TEL 0857-35-0191
E art.colorful.105@ncc-t.net
HP <https://art-colorful.com/>

アートスペース
からふる



QRコード

アート作品集 「ガーリー」 出版

- 記事提供：國本真吾氏
(鳥取短期大学教授)
日本海新聞2021.6.16



あふれる「ガーリー」色

女の子らしい

鳥取の西尾遥さん アート作品集出版

美しい色使いが魅力

鳥取市安の西尾遥さん(37)の作品を収録した「ガーリー」ハルカ作品集が出版された。付箋紙やマスキングテープ、布などを使い立体や平面の作品制作。ピンクや赤などを基調とした作品は、明るくまぶしく「ガーリー(女の子らしい)」を思わせる。作品集は西尾さんの作品の魅力を伝える至極の1冊で、見る人の気持ちも楽しくさせてくれる。(吉浦雅子)



西尾さんの作品を収録した「ガーリー」



両親に囲まれ、作品集を手にする西尾さん(左から2人目)と姉の妹尾さん＝鳥取市元町のアートスペースからふる

西尾さんは2012年から、市内の妹尾悠子さん(47)が主宰するアート教室に通い始め、現在は「アトスベ」から出る「就労継続支援B型事業所」のメン

バーとして作品制作。幼少の頃から絵を描いたり、かわいいものを並べたりすることが好きで、付箋紙と出合っただけで、まちで見つけた言葉などを書き込んだりして、立体の箱などに貼って作品づくりに没頭し、その後、マスキングテープを使った作品制作へと移行した。作品は色使いが見事で、精魂込めて作ったことが伝わってくるほど力強い。14年には鳥取市民美術展企画部門で大賞を受賞。その後、同展で入賞を重ねており、今年は「ビッグスピン東大寺」(奈良県障害者大芸術祭実行委員会など主催)に入選した。作品集出版は20年10月の個展開催がきっかけ。作品を改めて見た両親の筆談(67)と泰子さんが、「驚いた。アートへの認識が変わった」と、表現力の素晴らしさに感動した。肇さんは「親なのに気づかなかった。娘にとって作ることは生きることに。娘の生きてきた軌跡を残したい」と夫婦で作品集を出版することにした。作品集は14、20年まで同事業所や家庭で制作した作品約40点を387に収録。作品の1カ所をクローズアップして掲載するなど構成のこだわりと、作品そのままの色が美しい。監修に携わり、書名を付けた妹尾さんは「遥さんはぶれない。ガーリーは芯のしっかりした

女の子というイメージ。作を手にとってもいい、楽し品は箋紙がはがれたりと言。保存は難しいので、作品集として形に残るのはうれし」と喜ぶ。

西尾さん夫妻は「作品集を手に取ってもらい、楽しんでもらえたら」と話す。1部500円(税別)。市内の一部書店などで販売。問い合わせは電話0857(53)47399へ。

人生を彩る学びに伴走する アートスペースからふる鳥取

- HP <https://art-colorful.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/art.colourful105/>

アートを仕事に

やりたい事を仕事にする。

障がいがあっても職業選択の自由がある。

一人では難しいこともなかまや、家族、支援者、
ともだち、応援してくれるひと、通りすがりの
ひと、みんなで力を寄せ合えば、可能性は
広がる。

“絵を描くと、みんながほめてくれる。

それが嬉しいから仕事にしたい。

たくさんの人に自分の絵を見てほしい。”

その思いを助けたい。

誰かの助けになる、

そのことが自分の力になる

アートスペースからふるは、ノーマライズな
社会の実現、福祉と経済の両立を目指してい
ます。

一般社団法人 アートスペースからふる

〒680-0037 鳥取県鳥取市元町101(若桜街道商店街)

お問い合わせ先

TEL/FAX 0857-35-0191

E-mail art.colourful.105@ncn-t.net

HP <https://art-colorful.com/>



ホームページはこちら



おまけ

- 鳥取と言え「この子らを世の光に」の糸賀一雄さん
糸賀一雄研究会2021『糸賀一雄研究の新展開』三学出版
特設サイト <https://sites.google.com/view/itogakenkyubook/home>



渡部講演「ひとと生まれて人間となる：
糸賀一雄からのメッセージ」2021.11.20

<https://www.youtube.com/watch?v=PbWSYH2xrk8>

~~~~~

~~~~~

- 新刊のご案内
「豊かな連携」を築いて
複数の目で育もう
渡部昭男2022（3月）

『改訂新版 障がいのある子の就学・
進学ガイドブック』

日本標準 ISBN 978-4-8208-0721-6

